

二二四七番

秋あきの田たの 穂ほ向むきの寄よれる 片かた寄よりに 我あれは物もの思おも  
ふ つれなきものを

二二四八番

秋あき田た刈かる 仮かり廬いほ作つくり 廬いほりして あるらむ君きみを  
見みむよしもがも

二二四九番

鶴たつが音ねの 聞きこゆる田た居ゐに 廬いほりして 我われ旅たび  
と 妹いもに告つげこそ

二二五〇番

春はる霞かすみ たなびく田た居ゐに 廬いほつきて 秋あき田た刈かるま  
で 思おもはしむらく